

## 写真に文字書き 年賀状・チラシ・文書添付に

写真の上への『文字重ね』をワードで行う時には、背景の色に負けない色選びや位置固定のためのレイアウトオプション設定など手間がかかりますが、写真加工アプリ Picosmos Tools を使えば心配無用！ この文書のタイトルはその Picosmos Tools で作っており、下図は 100% Picosmos Tools で作成したものです。

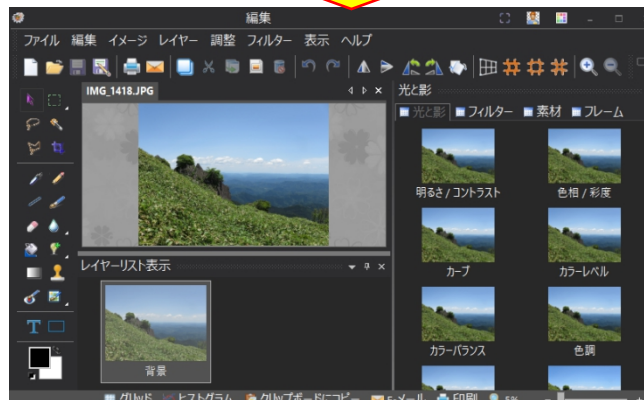
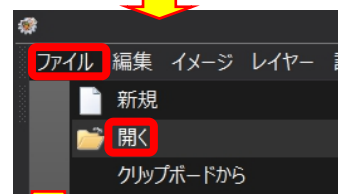
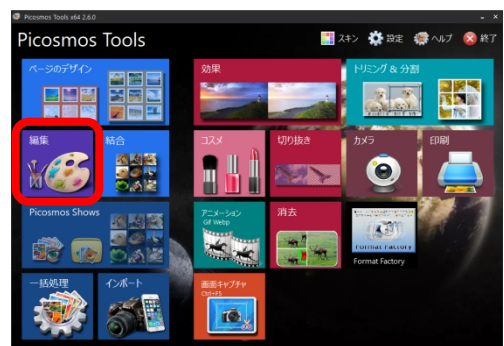


### 1. Picosmos Tools の入手

[ここ](#)から v2.6.0.1 入手可能ですが  
会場でも渡すことも出来ます。

### 2. 写真を開く

- ①Picosmos Tools 起動
- ②「編集」クリック
- ③ファイル→開く→写真を選ぶ



### 3. 文字入力

- ①ルールバーの「T」クリック  
テキストの入力設定画面が開く
- ②テキスト設定画面の説明



- ③テキスト「拡張」画面の説明

ここは触って感触を掴むしかありません、同じデザイン文字でもこの様に



変化させることが出来ます。



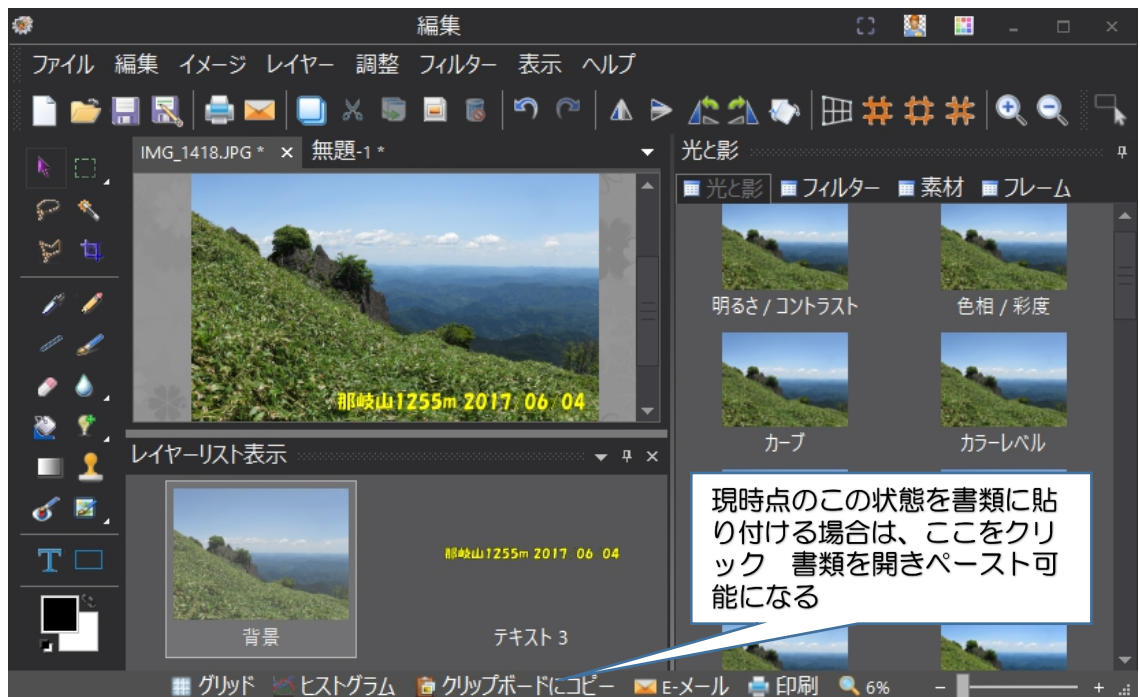
## ④入力→OK

文字サイズは写真の大きさに合わせて決める



## ⑤文字位置を好みの位置に動かす

修正する場合は画面上の文字をダブルクリックするとテキストの設定画面が開き修正出来るようになる



## ⑥文字の斜め表示-----縦書きは5項で説明

廻る矢印マークをクリックして動かす



## ⑦元へ戻すはこのマークをクリック

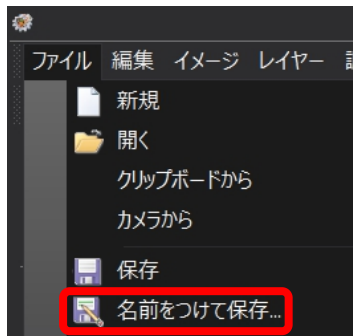


ク

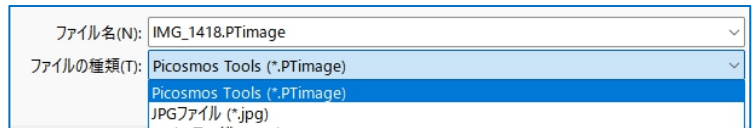
## 4. 保存

保存には2種類あります。仕上がり品 拡張子 jpg として保存、後日修正可能なプロジェクト 拡張子 PTimage としての保存。 自動保存機能はないことから作業開始の早い時点で PTimage 保存し、その後は上書き保存して進めることが安全です。

## ①ファイル⇒名前をつけて保存



## ②ファイル名を入力

③仕上がり品には▼から jpg を選ぶ  
後日利用には PImage を選ぶ

## 5. 縦書き

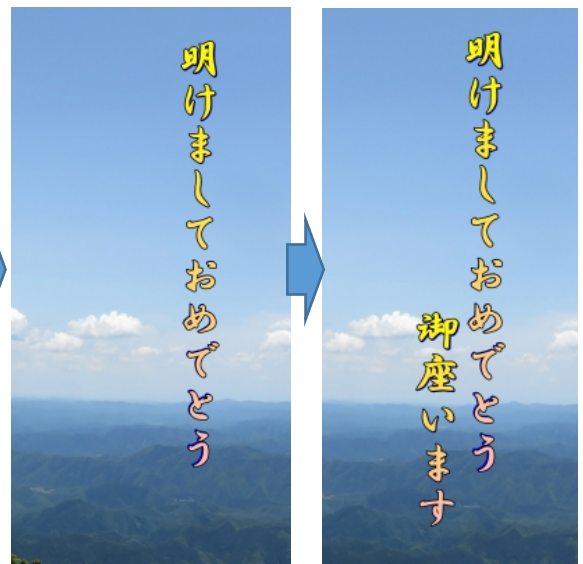
基本的に縦書き機能はありませんので、横書き文字列を一字ずつ縦位置に移動することで表示可能になります。この時に注意必要なことはフォントの書体です。HGP 創英角ホップ体のように「P」の付いた文字は文字によって横幅が異なることから、縦に並べた場合に「左寄り」になり中心線がずれて綺麗ではありません。P や S の付いていない書体を選ぶ必要があります。

## ①通常通り横書き文字を入力する。ただし、2列表示になる場合は1列の文字列だけを入力する

## ②1文字ずつ enter



## HG 行書体



## ③2列目の文字入力⇒1文字ずつ enter

## ④位置を合わせる



## 6. 備考

①写真の上に写真を重ねる場合はコピーしておいてペースト

ワード間隔でドロップしたり、新たに開いた場合は別の全画面表示になってしまいます

①単独で写真を開く

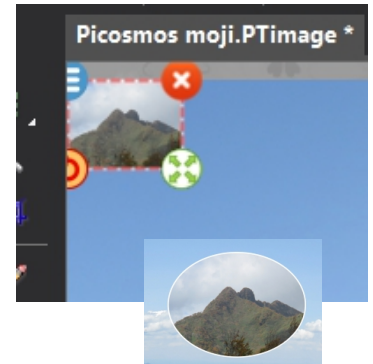
②Win+Shift+S⇒コピーする範囲を選択する

③Picosmos 画面で右クリック⇒貼付け

④画面拡大する場合は縦横比維持のために Shift キーを押さえながら行うこと

⑤ハートや丸形切り抜き貼付けしたい場合は、  
下図の「輪郭線を追加」から簡単に行うことが出来る

詳細は別項目『写真をハート・丸形に切り抜き』参照



②現在の文字を残しておいて別文字を表示して比較する場合

①現在の文字を一時的に非表示にする

該当レイヤーの上で右クリック⇒可視のチェックを外す

全てのレイヤーに適用出来ます

